

2024年3月22日

各位

株式会社COREZO

**【令和6年能登半島地震】  
3度の地震に耐えた奥能登の本格麦焼酎を再び届けたい!  
「COREZO FAMILY FUNDING」の新プロジェクト公開について**

株式会社北國フィナンシャルホールディングス（代表取締役社長：杖村 修司）グループの株式会社COREZO（代表取締役社長：園 悟志）が運営するクラウドファンディングサイト「COREZO FAMILY FUNDING」にて、日本発酵化成株式会社が新プロジェクト「【令和6年能登半島地震】3度の地震に耐えた奥能登の本格麦焼酎を再び届けたい!」を開始いたしましたので、お知らせします。

記

**■プロジェクトの概要**

「令和6年能登半島地震」で被災した日本発酵化成株式会社は、石川県内で唯一の焼酎専門メーカーです。

地震の影響で傾いた貯蔵タンク、破損した蒸留所の設備や施設を復旧させ、タンク内に残った熟成焼酎を石川県珠洲市の特産品として再び商品化したいという想いから、「【令和6年能登半島地震】3度の地震に耐えた奥能登の本格麦焼酎を届けたい!」をテーマに今回の

プロジェクトを立ち上げました。

**令和6年能登半島地震復興**

目標金額は500万円。

リターンには、地震で割れずに残った12年から40年熟成の焼酎や焼酎を使ったリキュール、復興祈念のステッカーをご用意しています。

プロジェクト名	【令和6年能登半島地震】 3度の地震に耐えた奥能登の本格麦焼酎を届けたい!
実施期間	2024年3月21日（木）～2024年5月31日（金）
目標金額	500万円
プロジェクト 実行者	日本発酵化成株式会社
専用ページ	<a href="https://shopping.corezo.co.jp/notoshochucf/products/detail.php?product_id=13155&amp;utm_source=hokkokubankpress&amp;utm_medium=press&amp;utm_campaign=20240321notosyochu">https://shopping.corezo.co.jp/notoshochucf/products/detail.php?product_id=13155&amp;utm_source=hokkokubankpress&amp;utm_medium=press&amp;utm_campaign=20240321notosyochu</a>

**■日本発酵化成株式会社が造る珠洲市の特産品「熟成焼酎」の特徴**

石川県珠洲市の特産品でもある日本発酵化成株式会社の焼酎には、2点の特徴があります。



### (1) 「もろみの長期熟成」

日本酒造りで有名な能登杜氏の技法を用い、もろみの醗酵に通常の何倍もの時間をかけ複雑な味わいを生み出します。

### (2) 「蒸留した原酒の長期熟成」

焼酎は蒸留後すぐの出荷が一般的ですが、蒸留酒である焼酎はウイスキー同様に寝かせれば寝かせるほど角が取れ、複雑な旨味のお酒になります。創業者の「熟成するまでは出荷するな」という教えを守る日本発酵化成株式会社では、最長で 40 年を超える熟成焼酎がタンクに眠っています。

## ■令和 6 年能登半島地震による被害と現状

日本発酵化成株式会社では、令和 6 年能登半島地震により、保有しているほとんどの貯蔵タンクが傾き、中にある焼酎を取り出して商品化するためには、タンクの立て直しが不可欠な状況です。



地震前



地震後

傾いた 100 本あまりのタンクの立て直し、新たな購入費、またそれらを並べる平らなスペースを作るためには、数百万円～数千万円を超える費用が必要となり、未だ作業に取り掛かれています。蒸留所の施設、設備、敷地内にも大きな被害が出ており、焼酎の仕込みはおろか、タンクに入った焼酎を瓶詰めして出荷することもままならない状態です。

## ■受け継いだ能登の焼酎造りを珠洲の未来へ

「次の瓶詰めがいつできるのか見通しが立たず、地震で割れずに残った商品がなくなった後どうすれば良いのか途方に暮れることが多い。」と話す会社代表の藤野さん。

地震から 2 カ月が経過した今、先代の教えを守り、熟成を重ねた焼酎を無駄にはできないと考え、クラウドファンディングを実施することを決意しました。

支援を募り、タンクの中にある熟成焼酎を多くの人に届けることを目標としています。地域の特産品としての焼酎を存続させるため、また被災地の一日も早い復興のために、皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

